

第5回 国連水と災害に関する特別会合(2021.6)【結果概要】

水と災害問題その他の関連する問題について、地球規模での意識高揚と行動の促進を図ることを目的とした第5回 国連水と災害に関する特別会合が2021年6月25日にオンラインで開催された。国交省から、赤羽大臣が水と災害に関する日本の取組について、ビデオメッセージを通じ発信。

- 1. 背景・目的 よりレジリエントで持続可能なポストコロナ社会の実現に向けて、水と災害問題や都市化、食糧問題、環境、気候変動といったその他の関連する問題について地球規模での意識高揚と行動の促進を図る。
- 2. 日程・方法 2021/6/25(金) 18:30~24:10(日本時間) Web会議形式オンライン
- 3. 主催 日本、ハンガリー、インドネシア、メキシコ、オランダ、韓国、タジキスタン各国の政府、水と災害に関するハイレベルパネル※、政策研究大学院大学

■ 赤羽大臣によるビデオメッセージ



- ・ビデオメッセージを通じ、将来の気候変動の影響を踏まえた治水計画の見直しやあらゆる関係者が協働して流域全体で治水の実効性を高める取組など、激甚化・頻発化する水害に対する最新の取組を紹介
- ・2023年に開催予定の「国連水の行動の10年中間評価会議」に向けて、防災に関する必要な情報・データの収集等、「防災・減災が主流となる社会の構築」の実現のための我が国の取り組みを各国と共有
- ・持続可能で強靱かつ気候変動に適応できる世界の実現に貢献していくことを発信



✓ 赤羽大臣からは、新型コロナウイルス感染症と共存しつつ、持続可能で強靱かつ気候変動に適応できる世界の実現に向けた日本の取組について、発信した。

※ 水と災害に関するハイレベルパネル(HELP: High-level Experts and Leaders Panel on Water and Disasters) は、水災害軽減に向けて、各国・国際機関による協調した取組を強化するための情報や認識を共有する場であり、ハン・スンス韓国元首相を議長とし、国土交通省の他、米国陸軍工兵隊、オランダ・インフラ水管理省、インドネシア・公共事業国民住宅省、国連防災機関、ユネスコ、世界銀行、アジア開発銀行等の代表から構成